



モオー帰るのいやだあー

晩秋の気凛う奥越高原牧場、10月22日飼いまたちは愛牛と約半年ぶりに懐しの対面、素晴らしい成長に思

わず頭をなでる、二度も三度も。さて、車に乗せようとするとなんか帰るのはモオーいやだあー、と、ふん

ばる、ふんばる。
快晴の六呂師高原、錦秋の涼風が汗だくの顔を気持よくなでる。

市長・市議員選挙の

公営ポスター掲示場設置条例を可決

来春の市議会議員選挙から

第200回定例会市議会は、9月20日招集され、会期を29日までの10日間と定め、理事者から提出の議案8件を慎重に審議しました。その結果、「昭和57年度一般会計補正予算」「大野市社会福祉充実基金条例」など全議案を原案どおり可決・承認・同意しました。また市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決め、最終日には議員提案による「大野市の議会の議員及び長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例」など3件を可決して29日閉会しました。

9月定例会審議日程

- 20日 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
- 22日 本会議（一般質問、各案件委員会付託）
- 24日 委員会（産業経済・建設）
- 27日 委員会（教育民生・総務）
- 29日 委員会（産業経済・建設・総務）
本会議（各委員長報告、質疑、討論、採決）

市政をきく 一般質問

市長再選後の政治姿勢

50%を割る消極的批判票を
どう受け止めているか

問 市長選の50%を割る投票率には消極的批判票が多分に含まれていると思うが、これをどう受け止めて今後の行政を進めていくのか。

答 投票率は確かに十分だったとは思っていないが、私にたくさんの方々からのご支持をいただいたことには深く感謝している。批判票は素直に受け止めて、市政の推進に努力したい。

五箇、阪谷公民館の窓口事務
廃止の考えは？

問 行政機構の合理化は国・地方公

共団体を問わず、今日の大きな課題である。現在阪谷・五箇公民館で行われている窓口事務（印鑑証明・住民登録など）を廃止したらどうか。

答 それぞれの地区住民の意向を十分配慮して合理化したいと思っているが、現在は6割以上が反対しているので見合せている。社会状況も変化しているのでさらに話し合いたい。

今後の政策方向

福祉型か建設事業型か？

問 今日の厳しい経済状況の中で、市の財政見通しをどのように考えているか。今後の政策方向は福祉と建設事業のどちらを優先して進めていく考えか。

答 国家財政も56年度は6兆円の歳入不足を来たしている。当市も決して良い方向にあるとは言えず、前途は厳しい。ただ過去の不況時でも税

収に余り変化がなかったもので、極端な変化はないと見ている。今後慎重に財政見通しを立てていきたいが、優先順位については市民福祉の向上が第1であり、そのための必要な建設事業は積極的に進めていく決意である。



水資源の確保について —消雪溝整備と併せて 新たな水資源確保に努力—

問 消雪溝を整備しても水量が乏しければ十分機能を発揮できない。真名川水利権の更新がことし3月末に国と真名川土地改良区連合との間で行われたが、交渉はどこまで進展しているのか。

答 水利権の更新についてはまだ許可はきてないが、従前どおりの水利権になるとの話である。56豪雪を契

機として消雪溝を整備しているが、十分な水源を持っていないのは事実である。水利権を持っている土地改良区の協力を得ているので、これといった不都合な点はない。市が将来、水利権を必要とするならば、金を積んでも買わなければならないと思う。目下のところは協力を得ている水量を有効的に利用して市街地に取り入れるよう努力したい。幹線水路の水、源確保については十分県と協議して、新たな方法を考えていきたい。

議案等の審議結果

議案番号	件名	結果
第五十一号	昭和五十七年度大野市一般会計補正予算 (第二号)	原案可決
第五十二号	昭和五十七年度大野市簡易水道事業特別 会計補正予算(第二号)	"
第五十三号	大野市社会福祉事業充実基金条例	"
第五十四号	大野市乳児医療費の助成に関する条例の 一部を改正する条例	"
第五十五号	大野市管住宅管理条例の一部を改正する 条例	"
第五十六号	昭和五十六年度大野市水道事業会計決算 認定について	認 定
第五十七号	固定資産評価審査委員会委員の選任につ いて	同 意
第五十八号	昭和五十七年度大野市一般会計補正予算 (第三号)	原案可決
市会案第七号	大野市の議会の議員及び長の選挙におけ るポスター掲示場の設置に関する条例	"
市会案第八号	たばこ、塩専売制度の存続に関する意見 書	"
市会案第九号	市町村社会福祉協議会の法制化に関する 意見書	"
第四十九号	(八月臨時会) 教育委員会委員の任命について	同 意
第五十号	市有建物の処分について	原案可決

**大野地域の公立高校入学
定員の増員について
一側面的に努力する一**

問 来春の中学卒業予定数は 673人と聞くが、今年度の大野高校と大野工業高校の募集定員は合計 410人と少なく、これが増員について県教育委員会に強く要請してほしい。

答 現在各中学校で上級学校進学希望者の第 1 次調査を行っている。1 人でも多く進学できるように努力したい。しかし果たして高校の学習に耐え得るかどうかを十分見極めて進路指導に当たることが大切である。

**固定資産評価審査委員会
委員の選任に同意**

森 廣 利 久 氏(71才)
(大野市平沢領家)

**体育施設の整備促進に
ついて
一用地を確保し建設に努力する一**

問 当市は他市に比べて体育施設の整備が遅れている。体育館の建設時期はどうか。

答 競馬場跡地の調査を行い、地主と交渉してきたが用地確保は極めて困難な状況である。従って総合グ

**市長・市議会議員選挙の
ポスター掲示場設置条例**

本条例は大野市の議会議員および市長の選挙に際して、選挙運動のためのポスターは従来は枚数等の制限だけで、掲示場所については特に指定されていなかった。今回この掲示場を市で設置して各候補者のポスターを集中させ、街の環境美化と選挙の公正を図るもの。

ラウンドの整備計画の遂行は難しく、別途屋内体育館については競馬場跡地付近に建設すべく、その地域の区画整理事業の進行と併せて建設に努力したい。

使用後のグラウンド整備について
問 学校のグラウンドを社会体育に貸与しているが、使用後の整地・清掃が全くなされていない。貸し出し方法を検討すべきではないか。

答 使用後の整地清掃に必要な用・器具等を備え付けていくことや、使用方法などについて十分検討したい。

**本願清水「いとよ」
生息地整備
一専門官による実態調査実施一**

問 本願清水「いとよ」生息地の保存には、今まで多額の経費を投入してきたが、現在では湧水はほとんどなく、泥がたまるなどして管理が困難な状況にある。今後の保存、管理をどう進めていくのか。

答 「いとよ」生息地として国の文化財指定を受けているので、現状形態を変更する場合には文化庁の許可が必要である。市としても水源や水質・水温などの学術的な問題を初め、下流域の流水問題等総合的に判断して、文化庁の専門官による実態調査などを行い、最良の対策を講じたい。



**町並みと景観
電話、電気配線の一本化
一申し入れていく一**

問 交通安全や街の美観保持という観点から、電話と電気の配線の柱を一本化すべきと思うが。

答 両線の一本化については消雪溝の整備と併せて申し入れていきたい。

一 8 月臨時会一

**教育委員会委員の
任命に同意**

日 下 賢 勝 氏(60才)
(大野市庄林)

**公的総合病院の建設
一早期実現に協力したい一**

問 9 割以上の市民が公的な総合病院の建設を切望している。なお市内の患者の 5 割以上が市外の総合病院へ足を運んでいる。早期建設に努力願いたい。

答 強い希望があることはかねてから十分承知している。建設に際しては市と市医師会が主体となるほか、労災病院の誘致などいろんな方法がある。市地域医療協議会でも研究してもらうなどして、早期実現に向け最善の努力をしたい。

意 見 書

可決して関係行政機関へ送付した意見書は次のとおりです。

- たばこ・塩専売制度の存続に関する意見書
- 市町村社会福祉協議会の法制化に関する意見書

委員会報告

—各委員長報告から—

●産業経済委員会

①林道整備について

林業生産の基盤である林道の整備は徐々に進展してはいるが、広大な山林資源を有する本市としては、まだまだ遅れている。特に林道黒谷河内線の舗装について最大限の努力をされたい。

②内職相談指導事業について

最近の厳しい経済情勢下にあって高年齢者や婦人層の就職は深刻な状態にある。そのため年々内職者は増加傾向にあり、内職相談事業の果たす役割は重要である。現在市はこの事業に対して、県補助金の20%を補助しているが、今後ともその増額と就労機会の増大を図るよう、また制度の活用についても市の広報を通じて周知方を図られたい。

●教育民生委員会

①図書館建設について

今回の補正予算により図書館建設の研究・調査費が計上されたが、この建設促進に当たっては教育委員会自体が持つ役割と重要性を十分認識し、早期建設に確固たる信念で臨まれたい。

●建設委員会

①水資源確保について

市は克雪対策として消雪溝の整備に努力しているが、整備されても水量が確保されなければ、機能を十分発揮することができない。水量確保は本市の切実、かつ緊急の課題である。現在真名川土地改良区連合から得ている非かんがい用水を効率的に使用するため、上流の幹線水路等の早期改修に併せて、総合的な利水体系の計画案を早急に樹立されたい。

また今日までの各種要因が、直接・間接に現今の水問題を招来した経過等にかんがみ、国・県に対して当市の現状を強く訴え、水資源確保には不退転の決意で臨まれたい。

●総務委員会

①執務体制について

市長も第2期目を迎えたが、全市民はこれからの行政に対し、大きな関心と期待を寄せている。今後下記事項に十分留意のうえ、執務体制に万全を期されたい。

(ア)4役を中心とした庁内協議では、市の進むべき方針について、はっきりした意思の疎通を図り、結果についても各課の管理職に対し適正な指示を行うなど綿密な連携を保たれたい。

(イ)課長会議は今日まで慣習や情性に固まり、保守的な考えが先立ち、当面する問題に対し形式主義や、

ことなかれ主義の感があるので、絶えず重要施策や各職場で当面している問題などを互いに検討し、建設的なアイデアの開拓に務められたい。

(ウ)事務能率の向上を図るため人事管理体制(適正配置)の強化も重要であるが、直接指揮監督する各課長が無関心であれば効果も挙がらない。各課長は大いに管理能力を発揮し、職員的能力引き出しにも気を配られたい。

(エ)各職員は飽くまでも住民サービスの緊要性を脳裏に刻み込み、市政の目標や方針に基づいて積極的に事務を遂行し、さらに絶

えず遂行状況を省みて、事務の変化に相応した適切な処置を講ぜられたい。



請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願5号	阪谷地区かんがい生活用水の確保について	伏石区長 清水 秀雄 外17区長	採 択
請願6号	社会福祉協議会の充実強化に関する意見書	大野市社会福祉協議会 会長 四方 軍平	採 択
請願7号	水路の改修及び通水工事について	有明町区長 横田 脛 外37名	採 択
請願8号	たばこ専売制度存続の意見書提出について	勝山たばこ販売協同組合理事長 島田 正 外4名	採 択
請願9号	本願清水の整備について	糸魚町区長 永見 豊松 外8名	継続審査
請願10号	阪谷地区循環道路(仮称)の整備について	阪谷地区区長会長 中村 定一	継続審査
請願11号	広域農道附帯農道の整備について	阪谷地区区長会長 中村 定一	採 択
請願12号	たばこ、塩専売制度維持に関する意見書提出について	福井県塩販売組合連合会 会長 中川 卓二	採 択
請願13号	優生保護法の改正に反対する意見書提出について	日本母性保護医協会 会員 広岡 一夫 外47名	継続審査
陳情8号	「勤労者いこいの広場」設置について	六呂師高原振興会 会長 中村 徳明	採 択
陳情9号	県営による土地改良総合整備事業について	大野塚原土地改良区 理事長 大葎原 登	採 択
陳情10号	本町通り融雪装置設置に伴う影響について	城町一区区長 井柵憲次郎 外4名	採 択
陳情11号	冬期間道路駐車禁止について	本町二下区長 笹島 彦次	継続審査
陳情12号	再基盤整備事業補助金の増額について	富田土地改良区 理事長 米村 喜六	採 択
陳情6号	地場産業開発センターの建設について	大野鉄工金属協同組合理事長 長谷部 清	継続審査